

2015 年度事業報告

(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

I 事業概要

平成 27 年度は、公益社団法人日本 WHO 協会の主要事業であるフォーラム等の開催、機関誌の発行、関連団体との連携事業および人材開発事業等の活動を継続実施し、WHO 憲章の精神の普及による国民の健康増進への寄与を図った。

以下に、定款第 4 条（事業）に沿ってその概要を報告する。

1. 啓発事業

(WHO 憲章精神の普及及び健康に関するフォーラム等の開催並びに機関誌広報等の啓発事業)

① ウェブサイトの拡充とメールマガジン発信

ホームページにおいて、組織基本情報、WHO 憲章や組織に関する情報、機関誌内容等を公開、適宜更新するとともに、WHO から発信される情報の紹介や WHO 神戸センターのイベント情報等を逐次掲載し、健康啓発情報についての広報発信を行った。また、メールマガジンについても継続発刊（92 号～115 号）し、タイムリーな健康啓発情報の発信を行った。（配信数 2300）

WHO のウェブサイトには疾病や健康課題に関する一般市民向けの基本情報として公開されている「ファクトシート」のキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき日本語版を訳出し、最新事情に合わせた見直しがあれば変更して WEB 上で公開した。

② セミナーの開催

WHO への理解を深め、健康への関心を高めて頂く目的で次のとおりセミナーを開催した。

◎2015 年 6 月 11 日（木）日本 WHO 協会フォーラム(参加者数：59 名)

「世界保健デー・テーマの意味」 講師：日本 WHO 協会理事長 関 淳一氏

「食と健康～子どもの食生活と大人の肥満」

講師：大阪青山大学教授 東根 裕子氏

◎2015年7月18日(土)第19回関西感染症フォーラム(共催)(参加者数:773名)

「手指衛生遵守率向上のための方策」

講師:岡山大学病院 感染管理認定看護師 渡邊都貴子氏

「モヤモヤ解消!消毒薬選択のピットフォーラム」

講師:大崎市民病院 感染管理室 大石貴幸氏

「感染症診療・制御と微生物検査」

講師:金沢医科大学病院 准教授 馬場尚志氏

「感染制御における最近の動向」

講師:東京医療保健大学 副学長/教授 大久保憲氏

◎2015年10月3日(土)日本国際保健医療学会学生部会(jaih-s)との

共同企画人的貢献推進セミナー(参加者数:73名)

『遠い国なら他人事!?!』～予防接種から見る理想の国際支援～

「拡大予防接種計画とワクチン/国レベルからみる予防接種事業」

講師:国立国際医療研究センター 国際医療協力局 蜂矢雅彦氏

「村レベルからみる予防接種事業」

講師:聖マリア病院 国際協力部部長 浦部大策氏

「グローバルなレベルから考える予防接種事業」

講師:関西学院大学 SGU 招聘客員教授 久木田純氏

③ 機関誌の発行

「目で見えるWHO」誌を次のとおり継続発行し、より啓発効果を高めるため、会員やイベント参加者等関係先への配布のほか、国立国会図書館をはじめ都道府県立図書館等へ送付した。

第57号 「感染症 正しい知識と予防」ほか 2015年5月(3000部)

第58号 フォーラム「食と健康」ほか 2015年9月(1500部)

第59号 「糖尿病の予防・克服」、jaih-s 共同企画フォーラム報告

2016年3月(1500部)

④ その他啓発事業

事務局に対しては日常的にメールや電話によるWHO関連情報に関する問い合わせがあり、協会の立場を明確にしつつWHOウェブサイト検索方法の指導等による啓発を行った。

2. 研究事業

(健康に関する調査研究の受託・斡旋・委託及び助成並びに研究成果に基づく提言等の研究事業)

「結晶質シリカ摂取と健康被害（発がん）の関係性」に関する調査研究を受託し、調査報告書を取りまとめた。

3. 連携事業

(国内外で健康に関する社会貢献活動を行う企業、団体並びに個人との連絡・調整・協力等の連携事業)

- ① NPO 法人むし歯予防フッ素推進会議主催の「第 38 回むし歯予防全国大会」および「第 39 回むし歯予防全国大会」、日本国際連合協会の国際連合公用英語検定試験事業、大阪糖尿病協会の「世界糖尿病デーおおさか 2015」事業、生産技術振興協会の新春トップセミナー、及び「アートフェスタ東成 2015」について後援名義使用を許諾し、事業に協力した。なお、後援名義使用を許諾した「大阪リバーツーリング道頓堀クリーンアップ作戦」は、諸事情によりイベントが中止となった。
- ② 日本国際保健医療学会学生部会 (jaih-s) との協力により、2015 年 10 月 3 日、人的貢献推進のための人材開発セミナー事業「遠い国なら他人事！？～予防接種から見る理想の国際支援」を共同開催した。

4. 支援事業

(WHO の事業目的達成に寄与するための募金活動及び募金収益の拠出並びに活動協力等の支援事業)

エイズ撲滅を進める目的で募金活動をセミナー等の機会を活用して継続実施し、集まった金額 ¥14,060 を、エイズ撲滅基金へ拠出支援を行った。

5. 人材開発事業

(国内外の健康の向上につながる人材の育成・援助等の人材開発事業)

- ① 日本から WHO をはじめ国際保健衛生分野で活躍する人材を増やす人的貢献の推進をかね、国際保健医療学会学生部会とともにフォーラム「遠い国なら他人事！？～予防接種から見る理想の国際支援」を開催した。
- ② WHO 西太平洋地域事務局インターンシップで支援要請のあった 1 名に対し、活動支援助成金(10 万円/人)を提供した。また昨年度支援して WHO 西太平洋地域事務局インターンシップを終了した 1 名より報告を受け、機関誌に報告記事を掲載した。

6. その他事業

(その他本協会の目的達成に必要な事業)

WHO、WKC 及びその関係者との交流を深めた。

WKC イベント等の告知広報の協力、WKC フォーラム等への参加や情報交換による交流を行った。また、WHO ファクトシートの翻訳に関し、WKC の指導支援を頂きながら進めていく協力関係を構築した。

II 総会、理事会等

1. 平成 27 年 6 月 11 日、大阪市（大阪歴史博物館）において定時社員総会を開催し、平成 26 年度の事業報告書と収支決算報告書、および理事の選任の議案を承認した。
2. 平成 27 年度理事会は計 8 回（うち、電磁的理事会 3 回）開催し、法人の業務遂行に必要な決議等を行った。

上記 1. の事業報告及び決算については定款第 46 条に基づき監事の監査を受けた後、平成 27 年 5 月 21 日開催の理事会で承認した。

平成 28 年 2 月 18 日理事会では平成 28 年度の事業計画と予算を承認した。

3. 会員の現況

本年度末現在の会員数及び前年度比の増減は次の通りである。

会員種別	正会員 (個人)	正会員 (法人)	賛助会員 (個人)	賛助会員 (学生)	賛助会員 (法人)
平成 27 年度末	42	23	270	5	63
平成 26 年度末	48	24	270	5	70
増減	-6	-1	0	0	-7